

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2
写真で振り返る

この10年

6
本別町開町110年

記念式典

12
「福祉でまちづくり」宣言

記念事業

14
「このころの「ほつと」相談スタート

本別町自殺対策緊急強化推進事業
国民年金コーナー

16
合併浄化槽のお知らせ

18
本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

20
本別町社会
福祉大会

本別町社会福祉協議会
創立60周年記念

ハロー仙美里小学校……………21
マイタウン……………22
みんなの健康・銀河ホットライン……………26
ご寄付ありがとうございました……………27
本のある暮らし・わたしたちのまち……………28

本別町開町110年記念式典



祝 開町110年

開町110年を記念した式典が9月15日、町内外から約300人が出席し、中央公民館で盛大に開催されました。(関連6～11ページ)

10年分のすてきな笑顔を届けます。

写真で振り返るこの10年

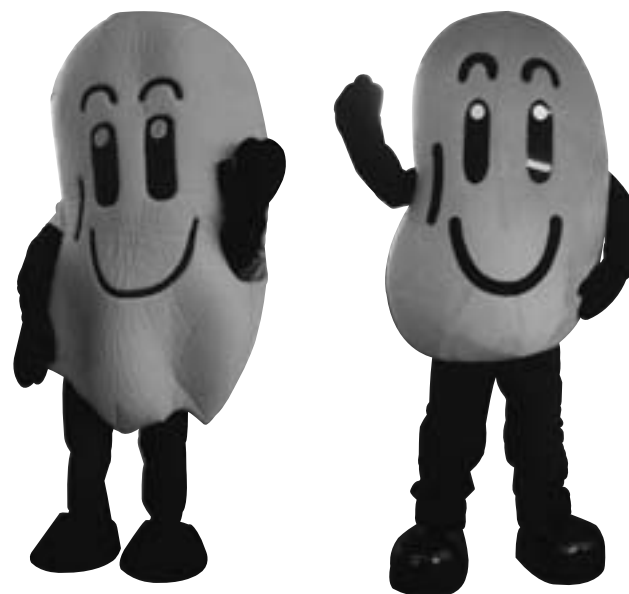
平成13年9月15日に盛大に開催された、開町100年記念式典。
あれから10年。

皆さんに支えられ、開町110年を迎えることができました。
その陰には、いつも誰かの「笑顔」がありました。

やさしい笑顔が人をつくり、人を育てる。

これからも、本別町に暮らす誰もが、幸せいっぱい
の「笑顔」でいられるまちを目指していきます。

笑顔が
いっぱい







閉式のことばを述べる 中野教育長 お礼のことばを述べる 方川議長 祝辞を述べる 稲田小松島市長 式辞を述べる 高橋町長 開式のことばを述べる 砂原副町長

本別町 開町110年 記念式典



開町110年記念式典が9月15日、友好都市の小松島市、姉妹都市のオーストラリア・ミッチェルのほか、東京・札幌・帯広の各本別会など町内外から約300人が出席し、中央公民館で開催されました。式典前には、山手町の頌徳碑前で「開拓功勞者謝恩祭」が執り行われました。

式典は、砂原勝副町長による開式のことばで幕を開け、出席者全員による町民憲章の朗唱、黙とうの後、高橋正夫町長が「国内外では、巨大地震や大津波、さらには猛烈な台風など自然の猛威を改めて痛感させられ、我々人類は非常に大きな試練に直面しました。我々は、このようなきっかけからこそ人の優しさ、温かさに触れ、自ら行動を起こし、再起をはかろうとしている仲間を支えつつ、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神を遺憾なく発揮し、ふるさと本別はもとより我が国が直面する課題に立ち向かいながら確実に克服し、歩み続ける所存であります。今後とも町政の各般に渡り従来にもまさるご指導ご支援をお願いいたします」と式辞を述べました。表彰式では、受賞した開町110年記念功勞者、平成23年度本別町功勞者合わせて73個人1団体を代表して7人が感謝状や表彰状を受け取りました。続いて、北海道知事高橋はるみ氏（代理）、十勝町村会副会長小林康雄氏（土幌町長）、小松島市長稲田米昭氏からのお祝いのことばをいただき、受賞者を代表して佐藤康夫さんが「この感激を肝に銘じ、なお一層本別町発展のために努力していきます」と謝辞を述べました。

方川一郎議長が出席していた多くの皆さんにお礼のことばを述べ、最後に、中野博文教育長の閉式のことばで式典の幕を閉じました。

開拓功勞者謝恩祭

9月15日午前9時から山手町頌徳碑前で「開拓功勞者謝恩祭」が開かれ、開拓功勞者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

開拓功勞者八翁

東 儀三郎 翁
鈴 勝太郎 翁
新 繁松 翁
幕 小太郎 翁
岡 公一 翁
井 英作 翁
荒 四郎 翁
前 田 金四郎 翁



献花を捧げる参加者

ウェルカムパーティー



来賓として開町110年記念式典に出席していただく小松島市訪問団、東京・札幌・帯広の各本別会、ミッチェル訪問団の方々を歓迎するウェルカムパーティーが式典前夜の9月14日、中央公民館で開催され、約150人が出席しました。本別町おどりでオープニングを飾り、高橋正夫町長が歓迎のあいさつ。来町者の紹介では、雛壇上でそれぞれの代表からあいさつをいただいた後、高橋町長から記念品が手渡されました。ミッチェルからは、本別町へガラス工芸品などを贈呈するパ

フォーマンスもありました。続いて、方川一郎議長と濱田保徳小松島市議会副議長の乾杯で祝宴に移り、もちつき保存会十五夜会（泉野健会長）による餅つきや飛び入りでの本場「阿波踊り」も披露されるなど、終始楽しい雰囲気の中で親交を深めていました。



乾杯！

もちつき初体験

料理を手にする出席者

本場の阿波踊り

Anniversary 110



自治功勞を代表して表彰を受ける荒木讓作さん

開町100年以降の歴代議長を代表して感謝状を受ける笠原求さん

特に功績顕著の感謝状を受ける小川信男さん

特別功勞を代表して表彰を受ける伊藤友一さん

産業功勞を代表して表彰を受ける佐藤康夫さん

教育、スポーツ、文化、社会福祉功勞を代表して表彰を受ける青木一夫さん

各分野で73個人1団体を表彰

町は開町110年を記念して、町発展に功勞のあった方々を次の通り表彰しました。
(敬称略・50音順)

感謝状を 受けられた方々

特に功績顕著

小川建設工業株式会社社長
小川 信男 (上本別)

開町100年以降の 歴代議長

笠原 求 (上押帯)
木南 政佳 (勇足東2)

表彰を 受けられた方々

自治功勞

町議会議員

荒木 讓作 (南2丁目)
方川 一郎 (負籠2)
方川 英一 (美里別東1)
加藤 晴康 (仙美里1)
佐川 逸雄 (活込)
高橋 利勝 (向陽町)
林 好喜 (北5丁目)
三好 喜美雄 (北2丁目)
山田 鶴雄 (向陽町)

自治会長

椿原 安夫 (錦町)
廣田 眞一 (北6丁目)
松井 啓 (山手町)

農業委員

篠原 英嗣 (美里別東上)

収入役

北谷 昇治 (南2丁目)

選挙管理委員

篠原 一明 (北5丁目)

統計調査員

千葉 民彌 (柏木町)
下内 正敏 (勇足東2)

教育、スポーツ、文化、 社会福祉功勞

スポーツ

岩木 豊 (新町)
小川 末男 (緑町)
黒山 久男 (南4丁目)
中山 博志 (仙美里元町)
水元 博宣 (錦町)
あさがおラジオ体操会

文化

青木 一夫 (南2丁目)
多賀 エイ子 (北3丁目)
田口 守 (柏木町)
夏川 ケイ子 (北4丁目)
名取 逸郎 (北3丁目)
堀切 千鶴子 (南1丁目)
吉井 誠 (弥生町)

社会福祉

石田 尋恵子 (清流町)
大沼 順子 (東町)
川崎 秀規 (北3丁目)
小林 信雄 (北2丁目)
佐藤 千恵子 (北8丁目)
白石 聖二 (栄町)
棚村 憲昭 (向陽町)
棚村 文子 (向陽町)
府川 文子 (向陽町)
森洋子 (新町)

産業功勞

農業

商工業

佐藤 康夫 (美里別西上)
今村 鉄也 (北2丁目)
岡崎 勉 (南2丁目)
河原 國夫 (南1丁目)
湯山 嗣秦 (東仙美里)

特別功勞

統計調査員

伊藤 友一 (勇足西3)
今野 公一 (負籠2)
山田 哲夫 (奥仙美里)

交通安全指導員

泉野 健 (柏木町)
浦中 ひさ江 (仙美里元町)
田中 雅恵 (北7丁目)

体育指導委員

宮崎 佳成 (北2丁目)
門田 弘美 (仙美里元町)

消防団員

大西 光夫 (向陽町)
遠藤 利之 (北5丁目)
小林 道雄 (南4丁目)
角 誠 (南4丁目)



受賞者を代表して謝辞を述べる佐藤康夫さん

本別町開町110年記念功勞者

Anniversary 110

平成23年度本別町功勞者

(敬称略・50音順)

自治功勞

町政推進に対し、長きに渡り自治会長として豊富な経験と卓越した指導力を生かし、自治会活動の円滑な運営と充実発展に努め、住民福祉の向上に貢献されました。また、公私に渡り地域活動に情熱を注がれ、多くの要職を歴任されるなど、地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著であります。



金子 荘一
南3丁目
自治会長18年間



佐藤 耕一
東本別
自治会長29年間



前佛 弘男
新町
自治会長17年間

消防功勞

本別消防団に入団以来、地域防災防衛の責任と郷土愛護の精神に燃え、長年に渡り常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励恪勤地域の火災防衛および治安の維持に貢献されました。これらの活動に献身的に尽くされた功績は誠に顕著であります。



伊藤 英昭
北4丁目
消防団員25年間



鈴江 薫
勇足東3
消防団員40年間



平賀 博章
南3丁目
消防団員37年間



山下 芳久
勇足東4
消防団員35年間



本寺 孝夫
仙美里3
消防団員26年間

社会福祉功勞

民生委員児童委員に委嘱されて以来、今日までの長きに渡り、その卓越した見識と旺盛な実践力により、保護家庭の指導援護活動と地域福祉の向上、児童福祉の増進に尽力され、本町行政の推進に貢献された功績は誠に顕著であります。



泉野 輝子
柏木町
民生委員児童委員21年間



二ツ山 好人
南1丁目
民生委員児童委員21年間



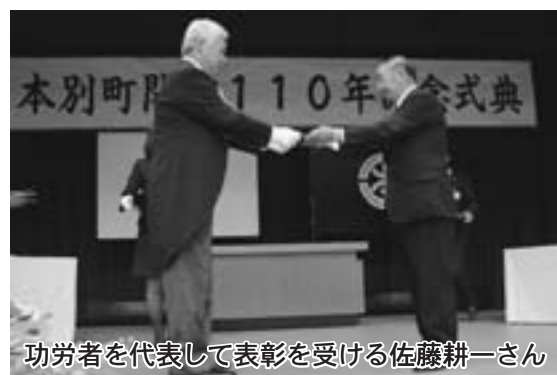
成田 忠孝
明美
民生委員児童委員20年間



篠原 幸子
北5丁目
民生委員児童委員21年間



佐賀 昇
勇足西1
民生委員児童委員21年間



功勞者を代表して表彰を受ける佐藤耕一さん

Anniversary 110

「福祉でまちづくり」 宣言記念事業

福祉を「まちづくり」という視点で捉え、地域全体で福祉を推進するために、平成18年2月23日に「福祉でまちづくり」宣言をしました。

これからの「ほんべつ」の福祉は「自助・共助・公助」の考え方のもと、町民の皆さん・介護サービス事業者・行政が協働の輪を広げ、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、未来ある子供たちへと引き継ぐことが大切です。

本年度は「みんなで考える！これからの福祉」をテーマに、小学生から高齢者まで幅広く福祉の取り組みを発信するとともに、今後重要となる成年後見制度など「権利擁護」意識の普及を目指した記念事業を開催します。

とき **10月7日(金)**
午後6時30分～午後8時45分
ところ **中央公民館大ホール**

内容

1. 福祉でまちづくり

宣言朗読

本別中央小学校4年生の皆さん

2. 小中学校での

福祉学習の発表

本別中央小学校4年生、本別中学校「介護・福祉コース」の皆さん

【コーディネーター】

地域包括支援センター 飯山明美

○本別中央小学校では総合的な学習の時間において、小学4年生で福祉の学習を行っています。今年度は「日本中が注目！本別町の福祉事業」というテーマで福祉の学習を通してまちを知る学習に取り組み、授業にも多くの地域の方々が参加しました。地域と連携した学習を通して学んだことやその成果について児童および先生に発表していただきます。

○本別中学校の介護福祉コースでは、5月から7月の全体学習において福祉の概要を学ぶとともに、老人クラブ連合会のご協力をいただき「聴き書き」に取り組みました。生徒の皆さんの学習テーマや学びの過程を発表していただきます。



3. 講演会

テーマ 「老いの準備運動を始めよう」

講師 (財)長寿社会開発センター常務理事

石黒 秀 喜 氏

○近年、高齢者・障がい者等の権利擁護の重要性が唱えられており、本町でも社会福祉協議会による法人後見や市民後見人の養成など、権利擁護事業の推進に取り組んでいるところです。一人一人の尊厳や権利を守るためには、自らがその意思を明らかにするとともに、その意思を尊重できる地域づくりが大切です。講演会を通して権利擁護の在り方を考えます。

4. 座談会

テーマ 「その人らしい最後を迎えるために
できること！」

【出演者】三枝 金作氏 (自治会の立場から)

棚原 千佳子氏 (看護職の立場から)

山本 栄子氏 (住民の立場から)

菊池 康祥氏 (行政の立場から)

【アドバイザー】石黒 秀喜氏

【コーディネーター】総合ケアセンター高齢者福祉担当 木南孝幸

○人生のエンドステージをどのように過ごすか、本人が望む「最後」を迎えるためにはどのような心構えや準備が必要なのか、必要な支援は何なのか。本町における事例や支援体験を通し「高齢者本人」「近隣住民」「行政」ができること、今後必要なことを考えます。

▼▼プロフィール

1950年北海道生まれ。厚生労働省大臣官房参事官などを経て、2008年から現職。10数年にわたる義母の介護を通して認知症に関心を持つ。老いてどのような時間の使い方を、どのような住まい方を、どのような人生の閉じ方を、か、「上手に老いるための自己点検ノート」を作り、「自己防衛のすすめ」を提唱している。各地の「老い支度講座」に呼ばれて「逝き方・生き方」を語ることで趣味活動になっている。認知症になっても「私」の顔を立てる個別ケアを願っている。そのヒントとなる自分の人物像メモ（人生申告書）の記入要領を提供している。認知症の人と家族の会会員。認知症キャラバンメイト。尊厳死協会会員。



サブイベント

ロビー展 午後5時～

公民館3階ロビーおよび大ホールで、高齢者の作品展示、学校での福祉学習などのパネル展示を行いますのでどうぞご覧ください。

主催 本別町・本別町健康長寿のまちづくり会議

問い合わせ 総合ケアセンター ☎222-02222・025220

こころの “ほっと”相談 スタート

こころの“ほっと”相談

誰にも言えないつらい気持ちのとき、苦しみや悲しみでいっぱいになるとき...。一人で悩んでいると、どうしていいか分からなくなります。そんなとき一緒に気持ちを整理するお手伝いをするために、心理カウンセラーがお話しを伺う、こころの“ほっと”相談を次の通り開催します。

- 日程** 10月14日(金)、11月4日(金)
12月16日(金)
平成24年1月20日(金)
2月20日(月)、3月16日(金)
- 時間** 午後3時から午後7時
※相談時間は1人原則40分程度で、1対1での相談となります
- ところ** 健康管理センター2階
心理カウンセラー
- 相談員** 圓山 嘉都美さん
- 相談内容** 精神や身体の健康・人間関係・仕事や職場・学校やひきこもりのことなど
- 対象者** 全町民(ご本人以外の家族や職場関係者も含みます)
- 相談料** 無料
- 予約** 事前に予約が必要です
- 予約先** 健康管理センター
☎22-2219



圓山嘉都美さん

▼相談員プロフィール
スペース・リ・ポーン代表
心理カウンセラー
1999年大阪から十勝へ移住。管内の中学校や高校、大学のスクールカウンセラー、子育て支援分野や住民の健康推進のためのカウンセラーを展開。現在は大人の心の健康を守るという視点で、自治体や会社組織で働く人、主婦をサポート。一人ひとりの話しをよく聴き、少しでもストレスを減らせるよう支援している。
資格：日本産業カウンセラー
協会認定産業カウンセラー
おおよびキャリアアコンサルタント

町国保病院「いざよい会」共催 こころの健康づくり 講演会のお知らせ

あなた自身や身近な人の様子がいつもと違う。また、その状態が長引いている。それは、もしかしたら心の病気や自殺のサインかもしれません。誰にでも起こり得る心の病気、誰の周りにも考えられる自殺。家族や職場の人が早めに気づき、できるだけ早く専門家や医療機関に相談することが重要です。

この講演会を通して、私たちに出来ることを一緒に考えてみませんか。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

と き 10月13日(木)
午後7時～

ところ 総合ケアセンター
レクリエーションルーム

演 題 「自殺予防と“うつ”」

講 師 大江病院副院長
鎌田 裕樹 先生

入場料 無 料

問い合わせ 健康管理センター
☎22-2219
町国保病院 ☎22-2025

あなたの 周りの人は大丈夫?

平成10年以降、国内の自殺者数は毎年3万人を超えています。自殺未遂者はその10倍。周囲で心理的影響を受ける人はさらにその5～6倍とされています。

健康問題、家庭問題、過重労働など過度のストレスが心身にさまざまな影響を及ぼし、うつ病などの心の病気を引き起こして、自殺に追い込まれるというケースが少なくありません。

自殺は身近な社会問題であることを認識し、自殺を考えている人の存在に「気づき」、「見守っていく」ということが大切です。

**「大切な人の悩みに
気づいてください」**

自殺を社会全体で防ぎましょう

パンフレット配布のお知らせ

町ではみなさんとうつ病や精神疾患について知っていただき、心身の不調や自殺のリスクを減らすことを目指し、広報と共にパンフレットを配布いたします。

今回お知らせした自殺予防講演会、こころの“ほっと”相談と併せて、広くご活用ください。

危険性を少し

国民年金

年金受給者のみなさんへ
『扶養親族等申告書』は期限までに提出しましょう

その114

年齢や退職を支給事由とする年金は、所得税の課税対象とされています(障害年金・遺族年金は課税されません)。課税対象となる受給者には、毎年11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日の提出期限までに必ず提出してください。

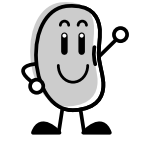
この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税額が決まります。もし提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税額が多くなる場合がありますので、ご注意ください。

なお、年金以外に収入のある人は確定申告が必要です。

平成24年分「扶養親族等申告書」が送付される人

年齢	年金額
65歳未満	年金額が108万円以上
65歳以上	年金額が158万円以上

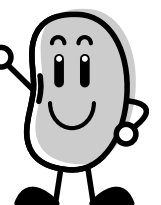
- こんなときは届出を
- 年金を受給中に次のような変更があった場合は、届け出が必要となります。必要な書類などを確認の上、必ず届出をしてください。
 - 氏名を変更した
 - 住所や年金の受け取り先を変更した
 - 年金を受けている人が死亡した
 - 2つ以上の年金を受ける権利ができた



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128

本別町全域(本別市街地の 公共下水道区域を除く)で

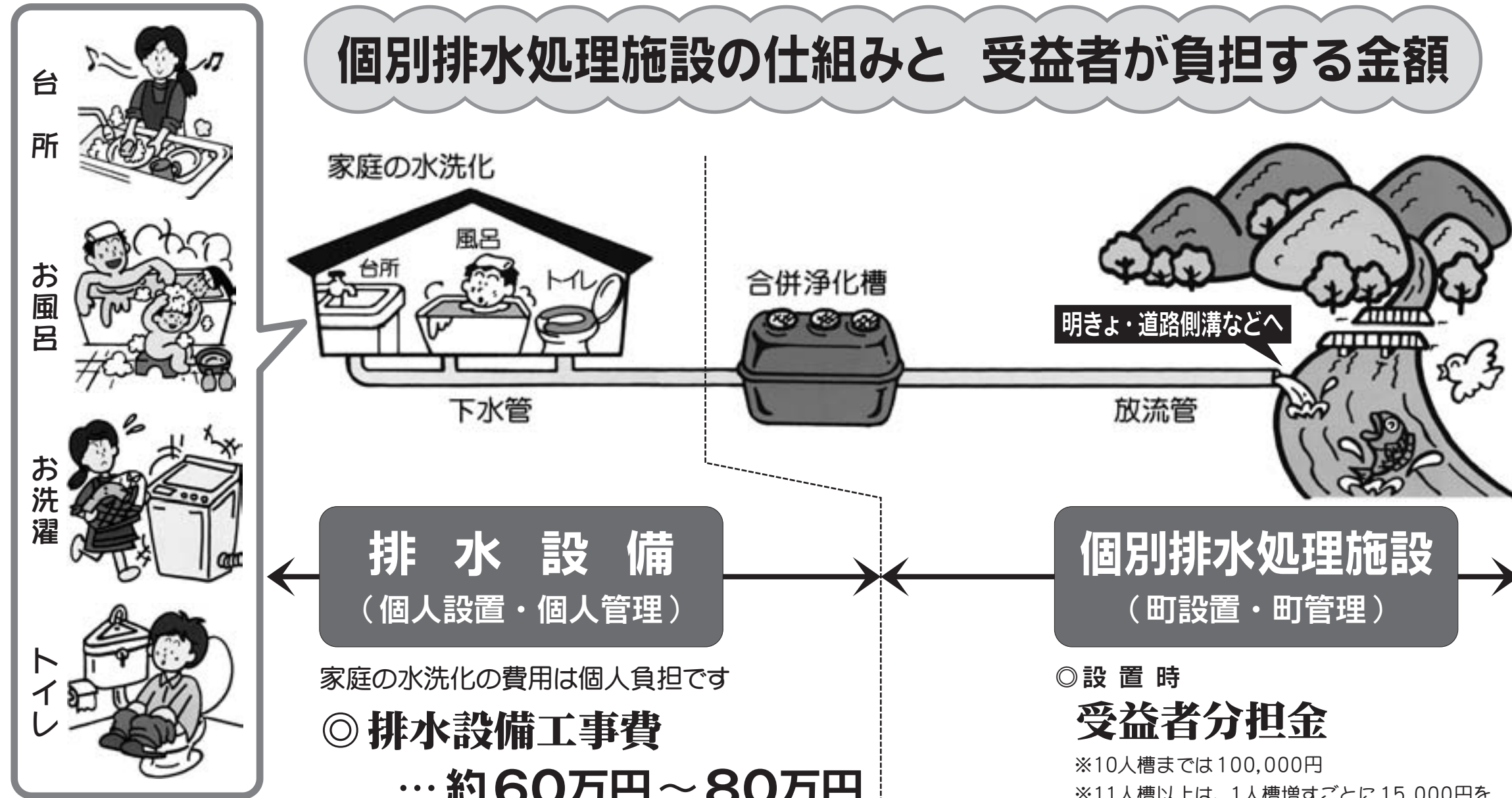
合併浄化槽が設置できずとも



平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにごりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

平成24年度に設置を希望する人は、平成23年10月末日までにお申し込みください

個別排水処理施設の仕組みと 受益者が負担する金額



排水設備
(個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です
◎ 排水設備工事費
 …約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



個別排水処理施設
(町設置・町管理)

◎設置時
受益者分担金
 ※10人槽までは100,000円
 ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
 (翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後
 ●使用料(毎月)

浄化槽の汲み取り・点検は町で行います
5人槽…3,095円
7人槽…3,872円
10人槽…5,020円
11人槽以上…10人槽の料金に1人槽増すごとに420円を加算した額

●電気料(毎月)……約800円～1,800円
 (5人槽～10人槽の場合)
 浄化槽内のばっ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

- 台所
- お風呂
- お洗濯
- トイレ

お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122

◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額 (平成22年度)	1,403千円		-	
平成22年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 2.5%~7.5%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

(平成23年4月1日現在)

支給率	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%)		定年前早期退職特例措置 (2%~20%)	
1人当たり平均支給額	16,011千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

③ その他の手当 (普通会計)

(平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		16,588千円	212,666円
住居手当	[借家] 月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒ (家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円に加算 [持家] 月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	[借家] 借家限度額 27,000円 [持家] なし	19,096千円	175,192円
通勤手当	[交通機関利用] 月額限度額 50,000円 [交通用具利用] 片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	[交通機関利用] 55,000円 [交通用具利用] 20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,610千円	48,787円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 10% 課長、室長、事務局長 9% 主幹 8% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	12,027千円	445,444円
夜勤手当	25%増し	同じ		100千円	33,333円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		992千円	82,666円
寒冷地手当	[世帯主] 扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 [その他の職員] 51,700円	同じ		13,798千円	100,715円

◆特別職等の報酬等の状況

(平成23年4月1日現在)

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給料	町長	747,000円
	副町長	616,000円
	教育長	562,000円
報酬	議長	292,000円
	副議長	230,000円
	議員	185,000円

6月 1.90月分
12月 2.05月分 合計3.95月分
加算措置：当分の間支給停止

職員の給与等に関するお問い合わせ先
総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、
透明性の確保などを目的に給与等の
状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度が
どのようになっているかを公表することが
地方公務員法で義務付けられています。
町民の皆さんに町職員の給与などの
概要をお知らせいたします。

◆職員の平均給料月額、
平均年齢の状況

一般行政職 (平成23年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	315,200円	41.8歳
大学卒	315,200円	41.8歳
短大卒	341,800円	45.5歳
高校卒	353,600円	46.8歳
中学卒	313,300円	42.3歳
全平均	339,800円	44.8歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数

(平成23年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成22年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	6人	5.5%	5人	4.6%
2級	主事、技師	4人	3.7%	3人	2.8%
3級	主査、副主査、主任	38人	34.8%	40人	37.0%
4級	主査、副主査	33人	30.3%	31人	28.7%
5級	課長、室長、課長補佐	16人	14.7%	17人	15.8%
6級	課長、室長	12人	11.0%	12人	11.1%
合計		109人	100.0%	108人	100.0%

(注) 1 本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
3 平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況

(平成23年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

◆職員の給与の状況

人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成21年度の人件費率
22年度	8,264人	8,241,107千円	109,451千円	1,427,180千円	17.3%	19.9%

各学校の手作りページ

HELLO 仙美里小学校

学校教育目標

「人間性豊かな子」

- ☆ しっかり考え よく学ぶ子
- ☆ 思いやりがあり よく励む子
- ☆ 明るく たくましい子

入学式



2人の新1年生を迎えて！

仙美里小・中合同仙美里小学校
開校110周年記念運動会



全児童・職員によるよさこいソーラン！

全校遠足



帯広市グリーンパークでの水遊び！

目指す 学校 像

子どもも教師も輝く 「活力ある学校」

J/A農業体験学習



種・苗植え！

水泳学習



速く、上手に泳げるように！

PTAキャンプ



飯ごうによるご飯づくり！

PTA奉仕作業



祝開校110周年看板かけ！

今年度の仙美里小学校は、開校110周年という記念すべき節目を迎えます。郷土の先人達が築いてきた歴史と伝統を受け継ぎ、PTAや地域の皆様の力強いご支援を受けながら、「子どもと豊かに関わり、一人一人を大切にしたい教育活動！」を合い言葉に、児童30人と教職員11人で新たな歩みを進めています。

本別町社会福祉協議会創立60周年記念

本別町社会福祉大会



ともしを支え合う 安心・安全・福祉のまちづくり

本別町社会福祉協議会創立60周年を記念した、第13回本別町社会福祉大会（大会長＝桑田達一本別町社会福祉協議会会長）が8月23日、社会福祉関係者や自治会役員など約200人が出席し、中央公民館で開催されました。

出席者全員で町民憲章を朗唱し、東日本大震災で犠牲になった方々に対して黙とうを捧げた後、桑田大会長が「第4期地域福祉実践計画に基づき、公民協働によるともしを支えよう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指し、町民の皆様が愛され、信頼され、支えられる社協づくりをまい進します」とあいさつ。続いて、社会福祉事業に功績のあった21個人、2団体に、盾と記念品が手渡され、受賞者を代表し本別町在宅介護者を支える会副会長の藪谷洋子さんが「この受賞を契機に、福祉の大

切さを再認識し、一層の精進をしていきたい」とお礼を述べました。

記念「口演」として行われた、同会が本年度から取り組む成年後見人制度についての講話では、講話師の神田織音さんが「成年後見講話：講話で知る成年後見制度」と題し、認知症の老姉妹を食い物にする悪徳業者や金銭を巡る家族間のトラブルなどを分かりやすく説明。

最後に、町内小・中学生の「福祉標語・福祉ポスターコンテスト」入賞者28人の表彰が行われました。



あいさつする桑田大会長



表彰を受ける小学生



講話師 神田織音さん

清流の里・あいの里 交流センター夏祭り 8/21

施設利用者と地域住民の交流を目的とした清流の里・あいの里交流センター夏祭りが8月21日、同施設で開催されました。職員らによって流しそうめんや焼き鳥、かき氷などが用意され、来場した約100人は、楽しみながら交流の輪を広げました。



全国大会を目指し 頑張ります 8/22

8月20日から22日に音更町で開催された第31回全十勝スポーツ少年団交歓大会兼北海道スポーツ少年団交流大会十勝地区予選で優勝した本別中央ジャンプスポーツ少年団（荒井香里主将）の団員10人が8月22日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場の報告をしました。中野教育長は、「優勝おめでとう。これまでの経験を生かして全道大会でも頑張ってください」と激励。荒井主将は11月26日から27日に芦別市で開催される全道大会へ向け、「練習を万全にし、相手が強いチームでも粘るバレーで、全国大会を目指したい」と力強く意気込みを語りました。



愛情たっぷり おやつ作り 8/23

家庭教育支援事業なかよしの「簡単おやつを作ってみよう」が8月23日、健康管理センターで開催されました。参加した9人のお母さんは、「フルーツのスポンジケーキ」「オレンジパバロア」など3種類のおやつ作りに挑戦。愛情たっぷりの美味しいおやつができました。



帯広競馬場で 本別町をPR！ 8/27

本別町をPRする「本別DAY」が8月27日、帯広競馬場ばんえい十勝で開催されました。場内では、「本別きらめきタウンフェスティバル杯」と名付けられたレースや本別町の物産展などが実施されたほか、町のマスコット「元気くん」とばんえい十勝のマスコット「リッキー」が場内を散策し、多くの来場者と触れ合いました。



ブラスアンサンブル 定期演奏会 8/27

第26回本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）定期演奏会が8月27日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。2部構成のステージでは、24人の演奏者が14パートに分かれて、宇宙をテーマとした曲やアニメの主題歌など全12曲を披露。迫力ある演奏に、会場を訪れた約70人の観客から大きな拍手が送られました。



楽しい夏まつり 8/28

8月28日、入所者とその家族、地域の人との交流を目的とした老人ホームふれあいまつりが同ホーム前広場で開催されました。来場者は、焼き鳥やいもだんごなどでおなかを満たしたほか、本別義経太鼓や健康ダンス、フラダンスのアトラクションで盛り上がり、最後は全員の盆踊りで締めくくりました。参加した約200人は晴天の中、夏のひとときを楽しく過ごしました。



本別の 基幹産業 農業を体験 8/29 9/8-15

本別町農業協同組合青年部（森住賢宏部長）による子ども農業体験が町内3小学校を対象に、本別支部（浜名一敏支部長）が8月29日に、勇足支部（井上晃通支部長）が9月8日にそれぞれジャガイモ掘りを、仙美里支部（天池鉄二支部長）は9月15日にソバ刈りを実施しました。これは、子供たちに町の基幹産業である農業を肌で感じてほしいという思いから毎年実施されているもので、参加した子供たちは、農業を体験しながら大地の恵みの偉大さを実感しました。



大変きれいに なりました 9/3

十勝地区郵便局長会十勝東部会（沼袋浩部会長：浦幌町吉野郵便局長）の会員とその家族32人が9月3日、本別公園内第1キャンプ場のごみ拾いを実施しました。同会は毎年部会エリアの市町村を回り地域奉仕活動を行っており、夏の繁忙期を終えたキャンプ場は大変きれいになりました。



朝日明さんに叙勲 9 5

朝日明さん（元町議会議員）が、旭日双光章を受章し9月5日、十勝総合振興局佐藤和哉副局長らが南1丁目の朝日さん宅を訪れ、勲記と勲章を手渡しました。朝日さんは昭和45年8月に本別町議会議員に当選して以来、6期24年にわたり在職され本別町議会総務常任委員会委員長、同文教厚生常任委員会委員長、同産業経済常任委員会委員長などを歴任し、昭和61年8月から1期4年にわたり副議長、平成2年8月から1期4年にわたり議長の要職に就くなど、高邁な政治信念をもって常に指導的立場で、地方自治の育成発展に大きく貢献されました。



職場体験学習 9 6~8

9月6日から8日に勇足中学校の2年生7人が、職場体験学習を役場やJA本別町などで実施しました。中央公民館に訪問した大市寛章さんは、イベント用の古くなった看板を修理する作業をしました。大市さんは「くぎを抜くの苦労したが、きれいに仕上げたい」と語っていました。

※この記事は役場に職業体験学習に訪れた勇足中学校2年の川岸優太郎さんが取材し、書いたものです



自分の身は自分で守る 9 7・14

本別中央小学校（岩野真志校長、272人）が9月7日、全校児童を対象とした交通安全教室と1年生と5年生を対象とした防犯教室を実施しました。子供たちは、真剣な眼差しで話に耳を傾け、交通安全の知識と自分の身を守る方法を学びました。9月14日には、勇足小学校（曾根広至校長、44人）の全校児童が、国道242号線沿いで交通安全キャンペーンを行い、道行くドライバーに手作りのお守りなどを手渡し、安全運転を呼び掛けました。



本別中央小学校 防犯教室



勇足小学校 交通安全キャンペーン

日頃の練習の成果を披露 9 9

第6回高齢者の楽しい集いが9月9日、中央公民館大ホールで開催されました。これは、町内の高齢者が相互の生きがいと親睦を深めるために行われているもので、34組86人の出演者は、民謡や舞踊、カラオケなど日ごろの練習の成果を披露。約250人の来場者からは、大きな声援や拍手が送られました。



ぱまキッズまつり 9 9

家庭教育支援事業「なかよし」による「ぱまキッズまつり」が9月9日、子育て支援センターで開催されました。子供たちは、おかしくじやゼリーすくいなどたくさんのお店に大喜び。育児支援サークルのママレモンや竹とんぼ、すいーとぼてとによるエプロンシアターや人形劇なども行われ、参加した46組98人の親子は楽しいひとときを過ごしました。



いざという時のために 9 9

救急の日に合わせて普通救命講習（本別消防署主催）が9月9日、中央公民館で開催されました。講師の消防職員から、DVDなどによる心肺蘇生法や応急手当法の説明を受けた後、人形を使って心肺蘇生法とAEDの実技講習を実施。参加した22人は、いざという時のための救命方法を真剣に学びました。



風を切って軽快にサイクリング 9 11

第37回子どもサイクリングの集い（本別町地域子ども会育成連絡協議会主催）が9月11日に開催されました。参加した小学1年生から一般までの15人は、中央公民館から美里別地区公民館までの往復約30kmを風を切りながら軽快にサイクリングを楽しみました。昼食には、美里別地区公民館で焼肉を食べるなど、満喫した一日になりました。



アメニティ本別敬老会 9 15

アメニティ本別（長谷川賢理事長）主催の敬老会が9月15日、同施設内で開催されました。会場には、南保育所ゆり組の園児18人が訪れ、劇と踊りを披露したほか、園児らが製作した貼り絵をプレゼント。かわいい園児たちと触れ合った入所者74人は、笑顔で楽しいひとときを過ごしました。



ツール・ド・北海道2011 9 16

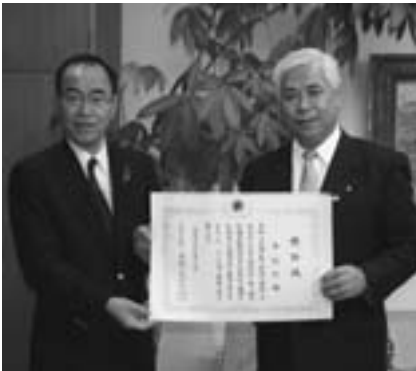
日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が9月16日、帯広市をスタートしてゴールの標茶町へ向かう第1ステージの途中で本町を通過しました。約100人の選手らは、たくさんの方の応援を沿道から受けながら、本町の約36kmのコースを駆け抜けました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

交通事故死ゼロ15000達成! 9/21

本別町が9月19日午前零時に、町内での交通事故死ゼロ1500日を達成しました。この偉業をたたえ9月21日、徳長政光十勝総合振興局長が来庁し、北海道知事から町への感謝状および公益社団法人北海道交通安全推進委員会長から町交通安全推進委員会（高橋正夫会長）への表彰状を高橋正夫町長に伝達しました。高橋町長は「この記録は町民皆さんのたゆまない努力の結果。毎日を大切にさらに進めていきたい」と話しました。



高橋町長は「この記録は町民皆さんのたゆまない努力の結果。毎日を大切にさらに進めていきたい」と話しました。

今年最後の夜でかけナイト 9/16

今年最後となる第30回夜でかけナイト（実行委員会主催）が9月16日、北1丁目から北4丁目商店街で開催されました。ビールや焼き鳥、クレープ、開催10周年を記念した仔牛の丸焼きなどの屋台のほか、ミッチェル交流団のグッズ販売もされました。晴天に恵まれたこの日は、夜になっても気温が下がらず、街は多くの家族連れやグループでにぎわいました。



本別高等学校同窓会・交流会を開催します

本別高等学校同窓会では、次の通り同窓会および交流会を開催します。同会を盛り上げるためにも、皆さんお誘い合わせての出席を、心よりお待ちしております。

と き 10月15日(土) 午後6時

と ころ 津村会館 (北4丁目)

会 費 2,500円

※交流会参加者のみ。当日ご持参ください

その他 準備の都合がありますので、出席できる人はお手数ですが、10月11日(火)までに各役員または同窓会事務局まで連絡をお願いします

問い合わせ 本別高等学校内同窓会事務局
☎22-2052



ご寄付ありがとうございます 平成23年8月18日から9月13日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町老人ホーム指定
ボックスティッシュ180箱…福島県 大澤智紀・好美

ジャガイモ 20kg……………負簾1 前佛正道
トウモロコシ 100本……………勇足東3 河合宏
金100,000円……………美里別西上 柴田一榮

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金50,000円……………美里別西上 柴田一榮

★本別町国民健康保険病院リハビリ室整備資金指定
金100,000円……………南2丁目 表 弘

みんなの健康

326

○固い物が食べにくい
○お茶や汁物等でむせることがある
○口がかわきやすい

最近こんな症状は ありませんか？

をうるお す保湿剤 もありま

これらの症状は「お口の乾燥」のサインです。食べ物や飲み込むときに障害をきたすことがあり、特に高齢者の場合、窒息などの危険性が高くなっています。また、肺炎のリスクも高くなります。



危険性を軽減させるために、しっかりと噛める歯、丈夫な歯ぐきが大切になってきます。入れ歯の人も、しっかりと噛める入れ歯が必要です。汁物でむせる人は、お口や首の体操をすることにより、飲み込む働きを強化し、むせを予防することもできます。口が渇きやすい人は、つばを出しやすくするマッサージをしたり、よく噛むことでもつばが出やすくなりますので、食事のときはひとくち30回噛むことを目標に

すので、歯科医院に相談されるといいでしょう。お口から入る食べ物健康な体を作ってください。お口の働きを高めるために、かかりつけの歯科医院での定期健診やお口の体操、つばの出やすいマッサージなどのアドバイスを受けることをお勧めします。

棚原歯科医院
歯科衛生士 森 範子

銀河ホールのイベント

足寄町

大収穫祭・秋の物産市

足寄町の農産物や特産品を生産者が自ら販売し、足寄町の味覚をPRします。

と き 10月16日(日)

午前9時～午後3時

と ころ あしよる銀河ホール21イベント広場

口内容

- ・野菜や豆製品、チーズやラワンぶき、手作りパン、漬物などの販売
- ・フリーマーケット
- ・じゃがいもの無料試食
- ・どん豆加工実演
- ・オガカラによるお絵かき教室
- ・足寄ウォーキングラリー

あしよる銀河ホール21を発着点にして総合体育館、里見が丘公園キヤノン広場、足型親水公園を巡ります。

口詳細 あしよる観光協会
☎25-6131

陸別町

「りくべつ鹿カレ」好評発売中!

「美しい星空のもと育った上質な鹿肉がとろける特製カレー」

陸別町内でとれた鹿肉を100%使用し、柔らかく煮込みレトルトカレーに仕上げました。
1箱1人前525円で、道の駅と銀

河の森天文台で発売しています。ぜひ一度ご賞味ください。



口問い合わせ 陸別町振興公社
☎27-12012

秋の夜長は ミステリー

～人気ミステリー作品あれこれ～

お誕生

8月後半から
9月前半の
届出分

森住 凌^{りょう} 賢^{けん} 宏^{こう} 美^み 8/17 勇足西2

古川 陽^{ひな} 菜^な 陽^{よう} 太^た 咲^さ 8/17 北5丁目

花見 紗^さ 耶^や 賢^{けん} 嗣^し 有^{ゆう} 美^み 8/31 緑 町

貝瀬 未^み 桜^{おう} 史^し 康^{こう} 衣^い 9/9 東 町

桐山 柚^{ゆず} 果^は 孝^{こう} 弘^{ひろ} 美^み 香^か 9/10 柏木町

おくやみ

千葉美重^{みしげ} 86歳 8/31 南2丁目

柴田ハツ工^{はつこう} 99歳 9/3 美里別西上

最新! 江戸川乱歩賞



『よろずのことに
気をつけよ』
(川瀬七緒・著)



『完盗オンサイト』
(玖村まゆみ・著)

他にも、「このミステリーがおもしろい!大賞」「日本推理作家協会賞」などの作品も展示します。ご利用ください。

わたしたちのまち

前月比

人口 8,270人(+3)

男 4,077人(+3)

女 4,193人(±0)

世帯数 3,880戸(+2)

〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112